

原発事故由来の
内部被ばくによる発がん

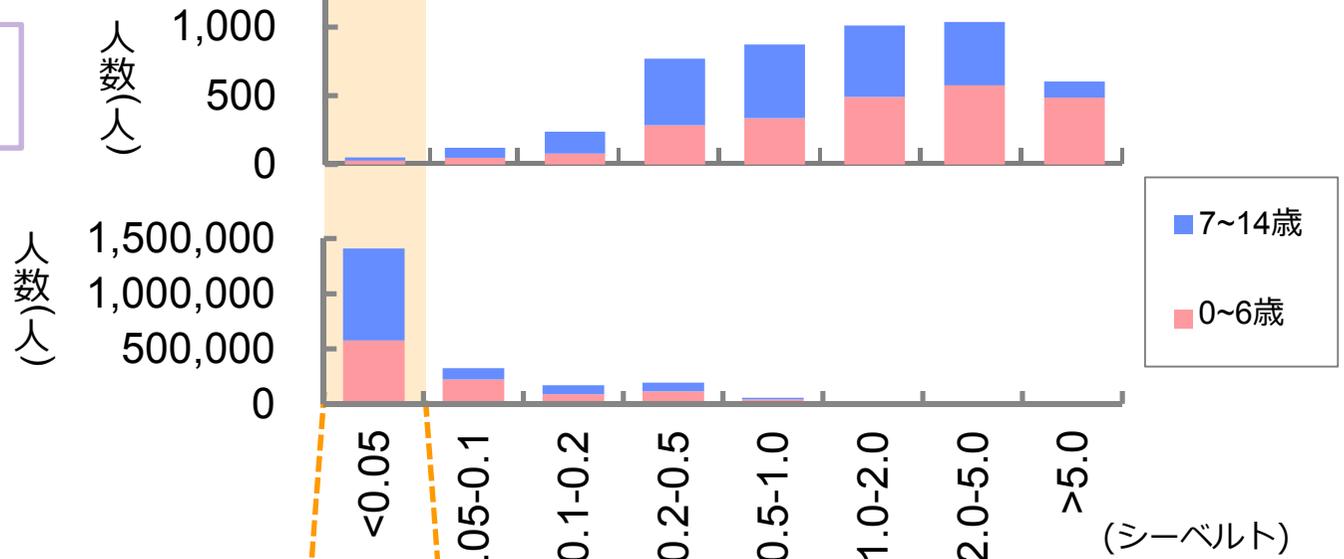
甲状腺線量の比較

小児の甲状腺被ばく線量

チェルノブイリ原発事故

ベラルーシで1986年
に避難した集団

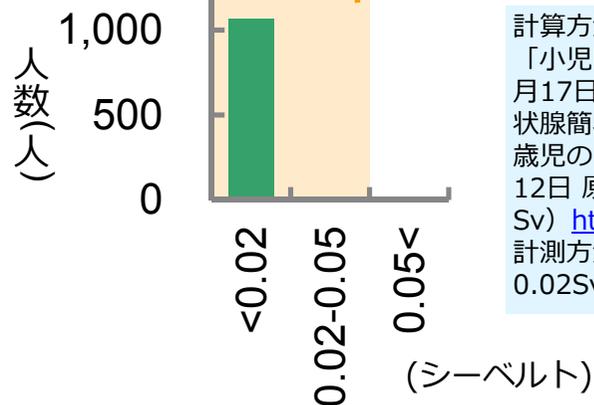
ベラルーシ全体
(避難者を除く)



出典：国連科学委員会 (UNSCEAR) 報告書2008年報告

福島第一原発事故

※このデータは、限られた
住民に対して行われた調査
によるものであり、全体を
反映するものではない。



計算方法

「小児甲状腺簡易測定調査結果の概要について」(平成23年8月17日 原子力被災者生活支援チーム医療班)にある「小児甲状腺簡易測定結果」を、「スクリーニングレベル0.2 μ Sv/h (1歳児の甲状腺等価線量として100mSvに相当)」(平成23年5月12日 原子力安全委員会)を用いて比較のために改編 (Gy = Sv) http://www.kantei.go.jp/saigai/senmonka_g31.html 計測方法や測定地の空間線量率から判断して検出限界は0.02Sv程度